

資料コーナー

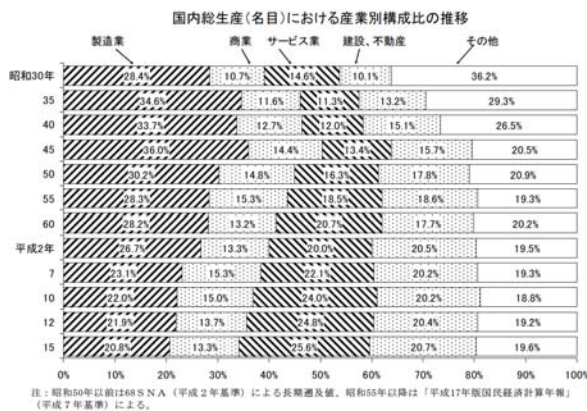
2006 我が国の工業

出典：経済産業省経済産業局調査統計部 統計

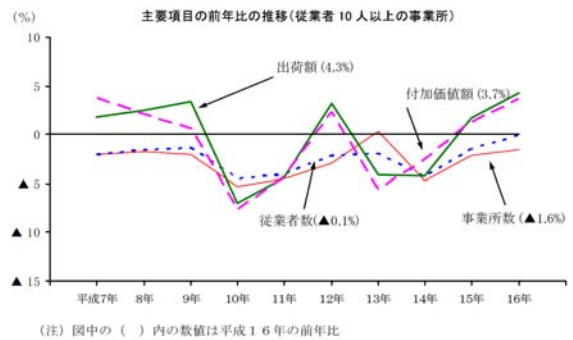
(<http://www.meti.go.jp/statistics/kougyou/wk2006/index.html>) より抜粋

我が国の製造業は、日本経済の牽引力としてダイナミックに発展してきましたが、バブル崩壊以降の低成長が続くなかでも、我が国の経済を支えてきました。引き続き、我が国経済の発展の要として重要な役割を担っています。

GDPの産業別構成比をみると、製造業は縮小傾向にあり、平成12年から1.1ポイント縮小し、平成15年には20.8%となっています。一方、拡大傾向にあるサービス業は、平成12年から0.8ポイント拡大し、平成15年には、製造業を4.8ポイント上回る大きな割合となっています。



平成16年の従業者10人以上の製造事業所数は、14万954事業所、前年比▲1.6%と3年連続の減少、従業者数は、733万6685人、同▲0.1%減と平成4年以降13年連続の減少となっています。製造品出荷額等(以下、「出荷額」という)は、275兆9718億円、同4.3%増、付加価値額は、97兆3673億円、同3.7%増と、ともに2年連続の増加となっています。



平成16年の出荷額の産業別構成比をみると、輸送機械(50兆4225億円、構成比18.3%)が2割弱を占め、次いで一般機械(27兆8686億円、同10.1%)、化学工業(23兆9633億円、同8.7%)、食料品(22兆774億円、同8.0%)、電子部品・デバイス(18兆5708億円、同6.7%)で、これら5産業で5割超を占めています。以下、電気機械(18兆337億円、同6.5%)、鉄鋼業(13兆9099億円、同5.0%)、情報通信機械(12兆8384億円、同4.7%)、金属製品(12兆2028億円、同4.4%)の順となっています。

森川 竜一(株)東芝
(平成18年3月27日受付)

主な国の全産業に占める製造業の比率を各国の国民経済計算(経済活動別国内総生産, 名目)でみると、日本は20.8%(2003年)となっています。製造業比率の高い国は、中国45.7%(2004年)、タイ29.6%(2003年)、韓国25.5%(2004年)、インドネシア24.2%(2004年)、フィリピン23.0%(2004年)、ドイツ20.4%(2004年)、英国14.0%(2004年)、米国13.9%(2004年)、フランス12.5%(2004年)です。一方、製造業比率の比較的低い国は、フランス12.5%(2004年)、米国13.9%(2004年)、英国14.0%(2004年)です。

